

資料1-3

構成員の対策紹介(大戸川ダム)



事業名：大戸川ダム建設事業

大戸川ダム工事事務所

- 大戸川上流に、洪水調節を目的とした流水型ダムを建設
- 大戸川ダムの集水面積152km²、総貯水容量約22,100千m³
- 大戸川ダムについては、環境影響を出来る限り回避・低減するための環境調査を含め、必要な調査等を行ったうえで本体工事を実施

事業メニューの内容、イメージ

○ダムの諸元

建設位置

(左岸)：滋賀県大津市上田上牧町

(右岸)：滋賀県大津市上田上桐生町

ダム形式：重力式コンクリートダム

堤高：約67.5m

堤頂長：約200m

総貯水容量：約22,100千m³

洪水調節容量：約21,900千m³

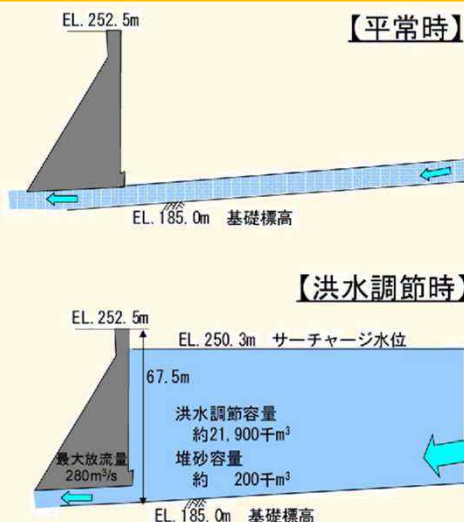
堆砂容量：約200千m³

○ダムの目的

大戸川・宇治川・淀川の洪水調節

○総事業費

約1,080億円



事業メニューの実施事例

【流水型、重力式コンクリートダムの事例】



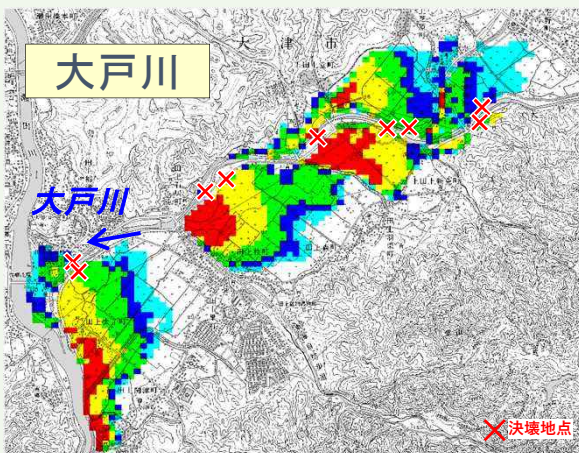
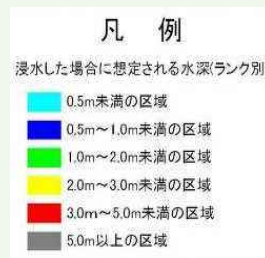
浅川ダム (長野県HPより)



辰巳ダム (石川県HPより)

事業メニューの効果

河川整備基本方針規模の洪水を条件としてはん濫解析を行った結果、右図の被害が想定されますが、大戸川ダム建設事業の実施により浸水被害の軽減が図られます。
※滋賀県内のみの効果を抽出



【計算条件】※事業実施前
(大戸川) 昭和57年台風10号型洪水の1.15倍